

佐々木 恵寿

鈴木 智

青木 稔

太田 光秋

矢吹 貢一

坂本 竜太郎

県政をリードする
県議会最大会派の自民党

福島を守り、未来を切り拓く。

Lib Dems

The Liberal Democratic Party of Japan



一人一人の命と暮らしを守るために。 新生ふくしま自民党、新4区 動く！



【新4区】いわき市／相馬市／南相馬市／広野町・楢葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村／新地町・飯舘村

豪雨災害を調査し知事へ要望

自民党議員会は9月12日、台風13号の影響で同月8日から9日にかけて降り続いた大雨により甚大な被害を受けたいわき市内の現地調査を行いました。西山尚利幹事長を団長に、星北斗参議院議員、地元いわき市選出の矢吹貢一、鈴木智、坂本竜太郎各議員らが内郷地区・常磐地区の被災箇所を訪れ、内田広之いわき市長や地元区長、県建設事務所長らから被害状況等について説明を受けました。

ふくしま自民党は、速やかな復旧はもとより、被災された方々の一日でも早い生活再建を期すべく、翌日、内堀雅雄知事に対し支援策の充実と迅速な対応を強く要望。内堀知事も既存の支援制度の対象外となる住宅半壊以下の床上浸水世帯に対し、独自の特別給付金制度の創設を検討することを明らかにし、9月定例会最終日に台風13号に伴う豪雨災害に対する追加の補正予算案が提出され、可決されました。



ALPS処理水の風評払拭のため、 自民党サーフィン議連が来県

ALPS処理水の海洋放出による風評被害が懸念される中、自民党サーフィン議員連盟（幹事長：小泉進次郎衆議院議員）及び大阪ブルーオーシャンビジョン議員連盟の国会議員5名が9月17日に本県を訪れ、南相馬市北海岸で開催されたサーフィンイベントに参加しました。

一行は、門馬和夫南相馬市長や室原真二福島県サーフィン連盟理事長、地元選出の太田光秋県議会議員らから出迎えを受けた後、大会本部を表敬訪問。LIVE中継への出演やビーチクリーン活動などを通して、地域の方々と交流を図りました。また、近海で水揚げされたばかりの「常磐もの」のヒラメやホッケ、地元産の新鮮なキュウリに舌鼓を打ち、美味しさや魅力をアピール。風評被害払拭を後押ししました。



大熊町に「学び舎ゆめの森」が開校！

9月21日、大熊町大川原地区に認定こども園や義務教育学校、学童保育が一体となった教育施設「学び舎ゆめの森」の落成式典が行われ、震災以来12年ぶりとなる町内での教育拠点の完成を祝いました。未来を担う0歳から15歳までが通う、まさに復興のシンボルであり、帰還の促進に向けて、新たに大きな一歩を踏み出しました。ふくしま自民党としても、地元の佐々木恵寿議員とともに、この施設の発展を通じた双葉地区の復興に、引き続き全力で取り組んでまいります。



企画環境委員会 委員
産業再生・環境共生特別委員会 委員
青木 稔

総務委員会 副委員長
福島県議会広報委員会 委員長
坂本 竜太郎

いわき市中央台飯野三丁目13-2
TEL.0246-28-4233
FAX.0246-25-1293

いわき市植田町南町1-2-16
TEL.0246-63-5910
FAX.0246-63-5856
E-mail:sakamotoryutaro.kouenkai@gmail.com

自由民主党福島県議会議員会
政務調査会長
農林水産委員会 委員
矢吹 貢一

自由民主党福島県議会議員会 副会長
総務委員会 委員
太田 光秋

いわき市平字権現塚32-2
TEL.0246-21-5484
FAX.0246-21-5484
E-mail:y-5139yabuki@vega.ocn.ne.jp

南相馬市原町区東町3-41
TEL.0244-25-0321
FAX.0244-24-4890

土木委員会 委員
福島県議会ICT化検討会 会長
鈴木 智

企画環境委員会 委員
佐々木 恵寿

いわき市小名浜大原字丁新地63-1
TEL.0246-84-9339
FAX.0246-84-9339
E-mail:satoru-s@pd5.so-net.ne.jp

双葉郡浪江町大字権現堂字御殿南24-1
TEL.0240-35-3364
FAX.0240-23-4277
E-mail:sasakikeijijp@yahoo.co.jp

ふくしま自民党10の約束



1 ふくしまならではの 地方創生

- 本県でのテレワークや暮らしの体験機会の提供を始め、テレワーク導入企業の県内への拠点整備等への支援など、転職なき移住の推進
- 国や会津地域の先進的な取組との連携を強化し、県民に身近な新しいサービスを提供するなど、デジタル社会の実現に向けた取組の強化
- ふくしまグリーン復興構想の着実な推進による国立・国定公園の周遊促進やワーケーションなど、交流人口の拡大に向けた取組の強化
- 移住者の受け入れ態勢整備への支援を始め、地域おこし協力隊の任期満了後の活動支援など、本県への移住促進による地域の担い手となる人材の確保
- 本県ゆかりの特産等のコンテンツを有効に活用した交流人口の拡大や地域経済の活性化の推進
- 農業人材の呼び込みと定着を図るため、農業体験や就農相談会の充実など、就農準備から定着までの切れ目のない支援体制の充実強化



2 避難地域の 復興加速化



- 避難地域12市町村における商工業、農林水産業等の事業・生業の再建と地域の実情を踏まえた営農再開への支援策の強化
- 帰還困難区域の復興・再生に向け、特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づいた拠点づくりの確実な推進と地域の実情に応じた拠点区域の整備に対する支援の強化
- 避難地域等の生活環境の整備に向け、イノシシ等の鳥獣被害や広域化する野生鳥獣による農作物被害防止のための取組の強化
- 双葉地域の中核となる病院の整備・運営と医療従事者の安定的な確保及び県内定着への支援など、避難地域等の医療提供体制の再構築に向けた取組の強化
- 避難地域12市町村における地域の特色を活かした教育プログラムの策定や帰還・再開後の通園・通学のための手段確保など、避難地域等における教育環境の整備・充実
- 住民帰還や産業再生に資する「ふくしま復興再生道路」等の道路の整備促進と復興まちづくり等に向けたインフラの整備・修繕の推進

3 環境回復



- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた県民総ぐるみによる省エネルギー対策と再生可能エネルギーの導入拡大の推進

- 処理水の海洋放出について、タンク内の水の浄化処理の確実な実施や第三者機関による環境モニタリングの比較測定など、客観性を確保し、徹底した安全対策のもとでの確実な実施
- 処理水の海洋放出における測定結果等について、県民・国民に対する分かりやすい情報発信を強化するとともに、国際原子力機関(IAEA)等と連携した科学的な根拠に基づく情報発信の更なる強化
- 特定帰還居住区域における除染の促進と帰還意向のない住民の土地や家屋等の取扱いに対する地域の実情に応じた取組の強化
- 住民の安全確保を最優先とした廃炉作業の推進と汚染水・処理水対策の取組を始め、国が積極的に関与した原子力防災体制の対策強化
- 除去土壌等の搬出完了後の仮置き場における原状回復と令和27年3月までの県外最終処分に向けた国民的な理解醸成活動の推進

4 子育て・健康・医療・福祉の 充実と人口減少対策



- 出会いの機会の提供や18歳以下の医療費無料化の継続、多子世帯への保育料助成、不妊治療費の支援の充実など、こども家庭庁と連携した結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる環境づくりの推進
- 新型コロナウイルス感染症への継続的な対応と次の感染症危機を見据えた県民の安全・安心のための安定的な保健・医療体制の確保
- 地域包括ケアシステムの充実強化や高齢者総合相談センターの円滑な運営など、高齢者がいきいきと心豊かに暮らせる環境づくりの推進
- 農福連携の充実強化や障がい者の自立支援に向けた取組の強化を始め、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」「福島県手話言語条例」に基づく障がい者がいきいきと暮らせる環境づくりの推進
- 健康寿命の食・運動・社会参加を柱とした健康づくりのため、ふくしま健民アプリなどのツールを活用した県民参加型による健康づくりの充実強化
- 子どもを虐待から守る総合対策の推進と家族のお世話や介護等が常態化している子ども(ヤングケアラー)への支援の強化

5 教育の充実

- 福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成に向け、公立小中学校における理数教育の充実強化や福島国際研究教育機構(F-REI)との連携による先端的研究の推進
- ふくしま学力調査による児童生徒の一人一人の学力を確実に伸ばす教育の充実強化と基礎的学力の向上に向け、教員の指導力や授業の質の向上につながる研修の充実
- 公立中学校での部活動の地域移行について、市町村や学校関係者を始め、地域の実情を丁寧に把握したスムーズな地域移行の推進
- ICTの活用等による学びの変革の推進と教職員の働き方改革やスクールカウンセラー等を含めた教職員体制の整備促進
- 幼児教育の充実と小学校教育の円滑な接続に関する実践研究の推進など、保育者の指導力の向上に向けた取組の推進
- 東日本大震災及び原子力災害からの教訓・継承と避難地域における特色ある教育など「福島ならではの」教育の充実強化



6 足腰の強い 農林水産業



- もうかる農業の実現と産地の発展に向けて、収益性の高い野菜・花きの高品質化や生産拡大など、園芸生産拠点の育成のための取組の強化
- 今後のさらなる操業拡大のため、本県漁業の復興をけん引する新規就業者の確保と若手漁業者の定着に向けた取組の強化
- 森林資源の適切な管理や国土強靱化に資する路網整備、間伐、再造林等の森林整備等による治山対策の推進と県産木材の安定供給体制の整備促進
- G I (地理的表示)等の知的財産や機能性表示制度の効果的な活用を始め、GAPや有機栽培など環境に配慮した農業の拡大等による農林水産物の高付加価値化の推進
- スマート農林水産業の推進や麦・大豆・そば及び自給飼料の生産モデルの構築、エコファーマーの取組継承・拡大など、農林水産業の持続的な発展に向けた取組の強化
- 豚熱、鳥インフルエンザ等の家畜伝染性疾患の発生予防など、重要病害虫の侵入・まん延防止対策の強化

7 中小企業等の振興



- 原油価格・物価高騰対策や経営課題解決のための支援など、中小企業・小規模事業者の経営安定化に向けた取組の充実強化
- 県内企業や福島で働く魅力の効果的な発信や県外在住者向けの企業体験ツアーの拡充など、人材確保に向けた県内企業の魅力発信の強化
- 経営者の高齢化や後継者不在など様々な課題を抱えている事業者に対する円滑な事業承継支援の強化
- 県内中小企業・小規模事業者に対する県工事の発注や物品・役務の調達における受注機会の拡大及び適正受注の確保
- 本県が誇る県産品の販路の回復・開拓と県産品のブランド力の強化及び地域特産品の開発に対する支援の強化
- ものづくり補助金、IT導入補助金等を活用した生産性向上をはじめ、輸出・海外販路拡大など、中小企業・小規模事業者に対する支援の充実強化

8 新産業の 創出・集積



- 福島イノベーション・コースト構想の実現に向け、必要な体制や財源の確実な確保を始め、産業集積・人材育成・交流人口拡大などの事業による構想の具体化
- 廃炉・放射線分野における樹葉遠隔技術開発センター等を始めとする各研究センターを活用した安全で着実な廃炉の実現に向けた研究開発及び人材育成の推進
- 福島ロボットテストフィールドの安定的な運営と各種ロボットに関する認証制度等の整備、社会実装支援の強化
- 医療関連分野・航空宇宙分野等の関連産業の集積のため、新規参入の促進や研究開発支援を始め、企業の技術力の向上等に必要の支援の強化
- 浜通り地域等をスタートアップ創出の先進地とするため、スタートアップ育成5か年計画による起業しやすい環境づくりの推進
- 福島国際研究教育機構(F-REI)の設置効果の広域的な波及と地域に根差した復興拠点の構築に向けた取組の推進

9 観光振興と 風評払拭・風化対策

- 常盤ものの魅力の再発信や更なる販売拡大を始め、本県水産業への理解醸成・流通拡大へに向けた取組の促進
- 全線運転再開1周年を迎えたJR只見線の利活用による奥会津の絶景や沿線の観光施設等の魅力の再発信
- 発酵ツーリズム、ホープツーリズム、ブルー・ツーリズム等の新しい観光の推進と「ふくしまの酒」や「みそ・しょう油」等を始めとした県産品のブランド化の推進
- 2025年大阪・関西万博の開催を見据え、インバウンド誘客の促進と本県の魅力ある地域資源の戦略的な情報発信の強化
- 食の安全性・信頼性の確保に向けたGAP認証取得やふくしまHACCPの導入促進
- 開港30周年を契機とした福島空港の利用促進と台湾定期便の就航の実現に向けた取組の強化



10 県土の強靱化・ 防災力の向上



- 防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策等を活用した河川改修や堤防補強による治水安全度の向上など、自然災害に強い県土づくりの推進
- 大規模災害時における被災市町村の災害対応業務を円滑に進めるため、県及び市町村間の緊密な連携体制の構築
- 大規模災害時における災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の設置など、被災地域の保健医療の強化と要配慮者への福祉的支援体制の整備強化
- マイ避難を始めとした的確な防災行動の実践と県民の防災意識の向上に向けた取組の強化
- 地域全体で災害に備えるため、自主防災組織への支援強化と自助・共助・公助による防災体制の強化
- 浜・中・会津との東西の広域的な連携・交流・地域医療・産業再生などネットワークの強化と橋梁の耐震補強や落石対策など、災害に強い道路ネットワーク構築の実現

